

Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL

ガバナー・月信
1990・7・15 No.2

国際ロータリー 第276地区
DISTRICT 276

RI 会長/ PAULO V. C. COSTA
RI 理事/ 蔵 並 定 男



ロータリーを高めよ
思いを尽くし熱意を尽くし

1990—1991年度
国際ロータリーのテーマ



手をつなぐ盛田和昭G・中村繁男GN・加納泉GN（地区協議会にて）

国際協議会について

R.I.第276地区 ガバナー 中 村 繁 男

クラブ会長・幹事の皆さん。各クラブロータリアンの皆さん。

本年度の国際協議会は3月6日から、14日まで、ダラス・フォートワース国際空港内のハイアット・リーゼンシー・ホテルで行われました。私も妻を同伴して、60名の日本からのガバナー・ノミニ夫妻と共にダラスへ入りました。実はテキサス行は私にとっては何度目かになり、古くは1972年、ヒューストン国際大会、最近では昨年のサン・アントニオ訪問と、なつかしい土地へ来たという実感で一杯でした。ホテルの玄関にアメリカ合衆国国旗と交差された、テキサス・ローンスター旗は、私に「アラモの砦」を思い出させました。大義に殉じ、決して仲間を裏切ることのなかった、アラモの182名の勇士たち、私たちの地区にある長篠城と対比されるこの戦いは、テキサス共和国独立の捨て石となりました。そんな歴史を持つテキサスが国際協議会の舞台となったことは、私にとって大へん嬉しいことでした。

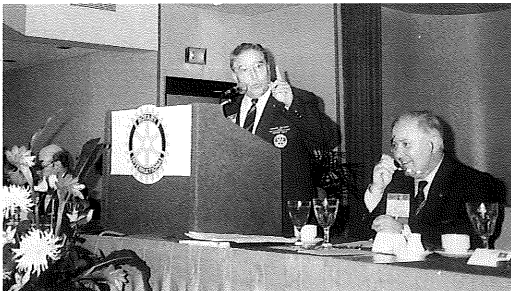
協議会の内容は「ロータリーの友」5月号に掲載されたように、馴れない私たちにとって、かなりハードなものでした。先ずイヤホーンで英語の基調講演を聞いたあと、アメリカ式のグループ・ディスカッションに入ります。辻兵吉、中島治一郎、両インストラクターのたぐみなリードで、日本と韓国の約40名のガバナー・ノミニは、討論を重ねるたびにロータリーを理解し、

親しみを増して来ました。R. インフォメーションとフェローシップを自然に体得するよう実に上手に立案されてありました。

大ぜいである食事も、朝、昼、晩、バライティがあって楽しいものでした。日本食が特に食べたいと思ったことはありません。正式な昼食会、晩さん会も含めて、満足出来る内容の食事でした。

ヒュー・アーチャー直前会長が昼食会でのスピーチの中で、「ロータリアンの1/3は無関心、1/3は批判派、あとの1/3が活動している」（正しくニュアンスが伝わるかどうか、心配です）という印象にのこる発言をされました。国際ロータリー事務総長を兼務され、財政改革に尽力され、年度後半にはソ連邦へ飛んで、史上168番目の国にロータリー・クラブを作るなど、アーチャー直前会長の功績はロータリー史を飾るものとなることは間違いありません。ロータリーがポール・ハリスを先達とする幾多の先覚者の無償の奉仕の上に、今日の栄光をもたらしたことを思うとき、国際ロータリーの役員としてのガバナーの仕事が、どのように責任の重いものか、襟を正さずにはおられません。私は地区協議会やPETSの場において、国際協議会で学んだことを懸命に皆さんにお伝えしたつもりです。

8月は会員増強月間、9月は青少年活動月間です。興味あるプログラムで月間を盛りあげるよう準備して下さい。



コスタ会長エレクト昼食会スピーチ



グループディスカッションの中村G.N.

コスタ会長からの手紙 〈環境保全〉

1990年5月29日

親愛なるガバナー・繁男

私がR.I.会長として最も強調したいことは、「われらの天体、地球の保全」であります。私の最大の関心事は「環境保全」であり、各クラブが、この問題につきそれぞれの立場から役割を果たしてほしいと思っております。

この運動を推進するために、近く“THE GREEN WAVE”を発行します。第1回はカラーで“R.I. NEWS”の最近号と一緒に送られる予定です。このパンフレットは「環境保全」についてのテーマの説明、各クラブが地域社会において何をなすべきか、ロータリアン個人が家庭で、仕事場で何をなすべきか、エネルギー資源の節約、公害との戦い等々の項目を含んでおります。

さらに大切なことは、このパンフレットはそれぞれの地域で、ロータリークラブが今やっていることを広く皆様に伝えます。

貴地区において、市街地清掃、公園清掃、河川浄化への試み、植樹、歴史的なものの保存、大気汚染等々の問題に対し、現在進行中のプロジェクトにどんなものがあるのでしょうか。

できれば写真と共に詳細をお送り頂ければ、ロータリアンの皆様に喜んで読んでもらえることになりましょう。その他、画期的で斬新なプログラムがあれば、それを報告して下さい。“THE GREEN WAVE”の第1号は間もなく発行されます。

貴地区における環境保全委員長のお名前と住所を知らせて下さい。もしできるならクラブの委員長さんについても。

パウロ V.C. コスタ
R.I.会長エレクト

(中村ガバナー 抄訳)

ごあいさつ

尾張第一分区代理 永井 進

予期せざる成行きで本年度尾張第一分区の分区代理を御引受けした知多クラブの永井でございます。ロータリー歴としましてまあまあ古さかも知れませんが、生来の不勉強で果してその大任が全うし得るかどうか、ガバナーや地区内同志の皆さんのお役に立てるかどうか、甚だ心許ない次第でございます。高邁な「ロータリーを高める」というようなことなど到底私ごとき浅学非才な者の力の及ぶところではございませんが、皆さんの足を引張らないようせて眼のつかぬところでよいから何かの御役に立てばと念じております。加えて地元商工会、県内の同業工業組合・協同組合・県や地元防犯団体等々各種の責任ある役職を引受けており、時間的にもやり繰りに苦慮致しておるところでございます。清水の舞台より飛び降りる気持ちでとはいえ、御引受け致した限りガバナーや各クラブ新会長幹事さんを始めロータリアン各位の御指導御支援をいたすべきながら、何とせよ能力一杯努力し、一年間及ばずながらも使命の一部を果たしたいと覚悟を固めているものでございます。不行届きの点も多々あろうかと存じますが、各位の友情に免じ、格別の御理解を賜りまして万事よろしく御引き回しの程、幾重にも御願い申し上げ御挨拶とさせていただきます。

クラブ細則第8条第1節(b)により職業分類委員会は、8月31日以前に地域社会の職業分類調査を行い、充填未充填職業分類表を作成しなければなりません。

ごあいさつ

名古屋第一分区代理 **嶺木 一夫**

このたびの、名古屋第一分区代理の指名は、私にとりまして、青天の霹靂の人事でございまして、お受けする資格・能力・等々が有るや否や、随分迷いましたが、諸般の事情でお受けすることに相なりました。

かくなる上は、全力を尽くして職務に邁進す所存でございますので、諸兄、諸氏の何分のご援助、ご指導を先ずもってお願い致します。

任務の内容につきましては、未知数の分が多々ございまして、今、抱負等を申し上げることは至難でございますが、敢えて申し上げるとすれば、先ずは、中村ガバナーの意を体して、ロータリーの真価を高めガバナーのご期待にできるだけ沿えるよう、努力致す所存でございます。第二は、名古屋第一分区9クラブの親善・親睦、または、諸行事の円滑な進行にできるだけ努力し、また、各クラブが楽しく意義の有る例会を実施できるよう、できるだけお手伝いをすると共に、地区クラブの意向・要望等を中村ガバナーに進言すると同時に、各クラブの進展状況をできるだけ中村ガバナーにご報告し、1990～91年度のロータリー活動に参加していきたいと思えます。

なお、私は、ロータリー歴10年足らずの経験で、皆様のご期待に沿えうかどうか甚だ疑問でございますが、ただ一生懸命にやりますので、中村ガバナーをはじめ、ガバナー事務局のご一同様並びに、名古屋第一分区ロータリークラブの皆様のご支援、ご援助を、切にお願い申し上げます。

ごあいさつ

名古屋第二分区代理 **岡本 櫻二**

名古屋第二分区代理に就任するにあたり、ご挨拶の原稿を名古屋大学医学部付属病院のベッドの上で書いております。私事で恐縮ですが、慢性閉塞性血管炎で第1回目の手術を2月8日に、第2回目の手術を5月1日に受け入院加療中であります。

分区代理は大変責任が重たいので、就任について非常に迷いました。こんな健康状態では皆様にご迷惑をかけるであろうと。そして、就任を辞退したいと名古屋名東RCに申し出たのですが、私の健康がある程度回復すれば全会員がどんな応援でもするから、是非就任しなさいとあたたかく励ましてくれました。また、病院の担当教授にもご意見を伺いましたら、私にやる気があれば体の方は大丈夫である。さらに、大きな目標をもってやる気をおこすことが、病気の回復にも役立つと思うというご意見をいただきました。

名古屋名東RCの友人達から、満足に会長の責も果していない私に力強く、また涙が出るくらいうれしい励ましに勇気づけられ、5月1日に1日も早く回復すべく、第2回目の手術を受けました。現在もベッドの上で懸命の努力をしております。それにしても、7月1日分区代理就任の日が目の前に迫っているのが気が気ではありません。何度も分区代理付理事、IM担当理事が病院を訪ねてくれていろいろ準備をしてくれています。以上のような状態ですので私自身は100%分区代理の責を果せないかもしれませんが、名古屋名東RCの友人達が100%以上バックアップしてくれますので何分よろしくお願いする次第であります。

就任のご挨拶にならなかったと思いますが、最大の努力をして分区代理を務めさせていただくと自分自身に云い聞かせながら筆をおきます。
(5月14日記)

ごあいさつ

東尾張分区代理 **青山 鍵夫**

1990～’91年度・分区代理の委嘱状を戴き恐縮しております。浅学非才もとよりその任ではありませんが、NOと言えないロータリーの慣習に従い、微力ではありますが諸先輩のご指導と温かい会員各位のご支援を頼りに、一生懸命努力いたす所存ですので宜しくお願い申し上げます。この年度中にロータリー歴20年、古稀を迎えることになりますが、より多くの奉仕の機会を授ったものと考え、幸せに思うことに致しました。

既に次期分区代理会議、分区代理・地区委員長会議、会長（幹事）研修セミナー、地区大会にも参加させて戴き、地区協議会も近づいて参りましたが“ロータリーを高めよう”を掲げての新年度の幕明けまで1ヶ月です。

申しあげるまでもなく、分区代理は分区内の各クラブの管理責任者を援助するための非公式なガバナー代理とありますが、中村ガバナーと分区内クラブ会長との間に立つ連絡員としてのつとめを果たすよう努力しようと思っております。

この年度はロータリーをさらに高める為に会員増強と拡大、財団の強化、地球環境保全等々奉仕の道はよりグローバルに展開されましよう。中村ガバナーのご意図を実戦に移し、全会員の親睦のもと、奉仕への情熱を実のある成果に結び付けたいものです。“I will”こそ万事の原動力ではないでしょうか。

7月からガバナー公式訪問とその事前訪問が始まります。拝眉の機会を楽しみにしております。

なお次年度IMは1991・2・16（土）ホテル・ナゴヤキャッスルで開催し、親睦を深めながらロータリーの未来を語ることになるものと思います。ご参加・ご協力を今からお願い申しあげて、ご挨拶いたします。

ごあいさつ

西尾張分区代理 **長谷川淳一**

創立6年目のクラブからの分区代理選出。その役責から考えても、経験豊富なロータリアンでなければならないはずが、このようなことになりました。過日、次期分区代理・各委員長会議が中村ガバナー・ノミニニー主催のもと開催されました。勿論、私にとっては初の経験でした。ご参加の皆さんはそれぞれ有能な方ばかりで、ロータリー運営の中核に長く携っておられたからか、全てを熟知のように感じられました。クラブ運営にも戸惑いを覚える私には雲上人の話にさえ思われました。

誰かが経験し、誰かが奉仕しなければロータリーの運営は成り立たぬと思い直し、このごあいさつを書き始めたわけです。

クラブ運営の仕組みすら定かでない私ですが、15年間の経験が何かでお役に立てるよう努力をいたします。分区代理という立場からではなく、ロータリアン同志がお互いに、親しく意見の言い合える雰囲気作りに努めたいと存じます。分区それぞれに違った雰囲気がありますし、分区代理をとりまく組織にも違いはありますが、違いが特徴となり、その分区の良い意味の方向づけができるなら、ガバナーとクラブを結ぶ役として大変うれしく存じます。例えば最近、地球規模での森林破壊と温暖化の件が問題となっています。身近かな問題ではないと思われるくらい、当分区の地形は豊かです。僅かな植樹は可能でも、植林を施すほどの山はありません。豊かな日本から緑が失われる可能性を含めて、世界的な緑化推進運動となるような、お互いの“小さな心くばり”運動が展開できたらと思います。身の回りで森林資源を守り、地域で僅かでも植樹を行うことは、さらに地球の温暖化を防ぐ大切な要素でもあります。西尾張分区の小さな特徴として、皆さんと共に展開出来たら幸いです。と存じます。よろしく願い申し上げます。

ごあいさつ

三河第一分区代理 **間瀬 誠一**

1990～91年度第276地区三河第一分区代理に推薦をいただき、恐縮しております。職務を与えられたかぎり、もとより微力ではございますが、諸先輩の皆様方の暖かいご指導、御支援をいただき、何とか無事に任務を終えさせていただきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

2回の分区代理会議、会長エレクト研修セミナー等で、RI会長のターゲット、ガバナーの御方針等の勉強をさせていただきました。ガバナーと分区内各クラブとの連絡係が私の任務の第一と聞いておりますが、責任の重大さを痛感し、当惑している今日この頃です。手続要覧に書かれてあります様に、各クラブの管理責任者を援助するための、非公式なガバナー代理として、良き連絡員となります様に心掛け、努力致したいと思っております。

6月6日、分区次期会長、幹事の皆様にご集っていただき、分区内の諸行事、各クラブの情報交換を行い、クラブの公式訪問、事前訪問につきましても色々とお協力をお願い致しました。その節はよろしくお祈りいたします。

また分区での最大行事、IMにつきましましては、渥美クラブのホストが決定しており、2月17日を予定しております。情報交換、親睦の場として有意義な会となります様お願いいたします。

地区の最大行事であります、地区大会は、ホスト豊川RC・コホスト豊川宝飯RCのもとに行われます。分区内各クラブには特別の御協力をお願いすることになります。またまたよろしくお願い致します。

RI会長のターゲット〔ロータリーを高めよ〕

ー思いを尽くし 熱意を尽くし

社会から与えられた恩恵に、ほんのわずかお返しする機会に感謝して努力をしたいと思っております。改めて皆様方の御支援をお願い致します。

ごあいさつ

三河第二分区代理 **市川 裕士**

今回、三河第二分区代理を委嘱され、その重責に強く身の引き締まる思いでございます。そもそも、分区代理の役目は、ガバナーと分区内クラブとの連絡役で、それぞれのクラブの進行状況をガバナーに知らせる事が仕事と聞いております。

さて私は、1986～7年に刈谷RCの第33代会長を終え、ほっとしておりましたら、国際ロータリー第276地区・1988～89年度地区大会の大会幹事を命ぜられました。これも皆様のお力添えにより無事終了し、やれやれと思っていた矢先、今度は、思ってもいなかった三河第二分区代理にご推薦がありましたが、ロータリーにはNO（能？）がないものが云々として、今日に至りました。

新年度の国際ロータリー会長のテーマ『ロータリーを高めよ、思いを尽くし熱意を尽くし』が、中村ガバナーにより、地区内各クラブの会長、幹事を通じ、会員の皆様に浸透するよう、お手伝いできれば幸いです。

これを機会に、他の分区代理諸先輩や地区内14クラブのクラブ指導者の方々とお近付きができて、ご鞭撻をいただければ幸いと存じます。

また従来、IGFと言われていたものが、IMと呼ばれることに統一されました。「ともに集い、ともに勉強し、ともに親睦をはかり、その日を有意義に過ごしたい」と思っております。

『平成2年12月14日（金）』は、IMを刈谷で開催致します。このたび、愛知県と刈谷市の努力により、全国的にも素晴らしい施設として、「愛知県刈谷勤労福祉会館」がオープンしましたので、そこを会場としました。刈谷市洲原公園を見渡す、よい景色ですので、分区内各クラブ会員の多数ご参加を、今から期待いたしております。

この一年間ご指導とご協力をお願い致します。

地区協議会「基調アドレス」より

ガバナー 中村 繁男

歴代のRI会長は自分のロータリーに対する哲学の表明として「会長テーマ」を掲げます。日本から2人目の会長に選出された向笠さんの「MANKIND IS ONE」（人類はひとつ）は現在益々時代に沿ったテーマとして、折にふれて引合いに出されます。ヒューアーチャー直前会長は「ENJOY ROTARY」というユニークなテーマを以てロータリーを指導しました。「やりがいのある仕事に全力投球をし成功したあとの充実感に報いを感じる事が核心である」と、アーチャーさん自身が述べられています。

パウロ・コスタ会長は「ロータリーを高めよ、思いをつくし、熱意をつくし」という大へん哲学的なテーマを掲げられました。簡単に会長の真意をお伝えすることはできませんが、「ロータリーの真価を高めよ」と「真価」という言葉をつけ加えて頂ければ、いくらか分りやすくなると思います。「思い」は信念、信頼、威厳の三つから成る語です。FAITH=CONFIDENCE+TRUST+DIGNITY。「熱意」はギリシャ語の動詞、「ENTHOUSIAZIN」（感動させられる）から来たものです。この言葉は「神」を意味する「THEOS」という言葉を語源とします。神を体内に宿している、神を信ずるものは生きている人間より大きくなると云われております。そう言えば日本の俗語にも「神がかり」という言葉があります。要するに誠実に熱心に各々が努力してロータリーの価値をあげようというのが、コスタ会長の願いです。

サブ・テーマとして「われらの天体・地球の保全」を掲げられました。ポリオ・プラス活動により何百万かの子供の命を救い、麻薬を撲滅し、高齢者の健康な生活を延長させることが出来ても、人間の住む環境が破壊されてしまえば、何のために私たちが努力して来たか、意味を問うこともできなくなります。よりよい生活を人類に与えることが、このテーマの目標であります。「ロータリー手帖」の表紙のグリーンは正にこのテーマを象徴しています。

ポリオ・プラスの運動は2億1千万ドルに及

ぶ莫大な資金をあつめ、私の年度の6月を以て終了致します。日本の目標額40億円は昨年末、すでに突破され、地区の目標も100%を超えました。100%に到達されたクラブは終結して頂いて結構です。来る4月の地区大会で地区としての優秀クラブを表彰し、終結宣言を出すつもりです。ワクチンの投与が順調に行われているのは申すまでもありません。報告によれば接種児童は5億人を突破したと云われ、予想以上の成果を上げています。

一方、R財団本来の事業である奨学金・補助金・GSE等を支える無条件(一般)寄付はどうか。世界的にみて、この3年間に30%平均下落し、日本でも11億円、8億円、7億円と下降しております。ポリオ・プラスはたしかにロータリーを高める大仕事でしたが、終結の後には、R財団は原点に戻らなくてはなりません。R財団の運営は全く健全で、日本からは伊藤義郎氏がトラスティとして管理に参加され、ポリオ・プラス後の財団の運営管理に当たっております。

ここで私はポリオ・プラス以後の財団寄付をノーマルな状態に戻して頂き、さらに何がしかの「オン」をお願いする次第です。世界の物価動向から財団奨学生、その他の補助金はコスト・アップに立ち向わなければなりません。奨学生褒賞枠も23,000米ドルから25,000米ドルに引き上げられその内訳は16,000ドルが奨学金事業9,000ドルがGSEとその他の補助金となっております。要するに無条件寄付の総額を25,000ドルで割った数値が、1992-93年度選考の当地区奨学生の枠となります。124ヶ国から20,000人以上の学生が105ヶ国に留学しております。近くソビエト連邦も加わることでしょう。

余り自分の地区や国のことを考えるだけでなく、R財団の仕事が世界平和にどれだけ役立っているかを考えてみましょう。私は年間お一人100米ドル程度の寄付で、財団の仕事を縮小させることなく継続させることが出来れば、それだけでもロータリーの存在感はあるものと信じます。

1990～1991年度のための 地 区 協 議 会

1990年6月10日（日） 於：名古屋観光ホテル ホスト：名古屋和合ロータリークラブ



第1分科会報告〈会長幹事部会〉

リーダー	ガバナーノミニー	中村 繁 男
アドバイザー	バストガバナー	佐 藤 知 雄
	地区幹事	水 野 喬 樹
	地区会計長	楠 仙 三
アシスタントリーダー	次期地区幹事	宮 本 昌 幸
	次期地区会計長	早 川 弘 三
	次期地区資金委員長	沢 田 貞 市
	次期地区拡大委員長	山 田 昇 平

宮本次期地区幹事の司会にてリーダー、アドバイザー、アシスタントリーダーの紹介がなされた。中村ガバナーノミニーより、ロータリーの特徴と、ロータリーとは「相手方に対する思いやりであって、行動に移すことがロータリー

である」等、ロータリーの活動についてのお話を伺った。さらにロータリー財団の派遣学生の現況並びにR財団の充実のため次年度はクラブ会員一人当たり100ドルの無条件寄付の目標をかかげた必要性和目標に向っての協力の要請がなされたあと、質疑応答の形で「ロータリー財団への寄付と、クラブ拡大、環境保全について」の討論を行いました。

最後に佐藤バストガバナーより例会での早退者の問題及び品位を高めるクラブ運営を旨として次年度頑張るようお話がありました。

第2分科会報告〈クラブ奉仕・会員増強部会〉

リーダー	次期クラブ奉仕委員長	福 与 碩 夫
アドバイザー	バストガバナー	近藤友右衛門
	バストガバナー	福 田 浩 三
アシスタントリーダー	次期名古屋第2分区代理	岡 本 纒 二
	次期三河第2分区代理	市 川 裕 士
	次期クラブ奉仕副委員長	山 内 疆
	次期広報委員長	小 山 勇
	次期ロータリーの友委員長	川 部 庭 資

最初のスピーチとして、アドバイザー、アシスタントリーダーの方々からの懇切なご指導で始まった、要約すれば

①クラブ奉仕が、ロータリーの第1奉仕部門にあげられる諸条件の説明。

②クラブ奉仕の各委員会の活動を活発にする。

③常識をもって、たのしい例会を持ちつゝ、会員同志が親睦活動を楽しもう。

④中村ガバナーからは、クラブの定款、細則、そして手続要覧を勉強するよう。

⑤本年度の会員増強は転勤者による会員減もあろうから、3～5％程度の増員をするよう。

⑥会員増強委員には、未充填の職業分類に対し新会員を探し、会員の増強を計るよう。

⑦「ロータリーの友」についての認識と活用。以上のようなご指導がなされた。

第3分科会報告〈職業奉仕部会〉

リーダー	次期職業奉仕委員長	岡田 一秀
アドバイザー	バストガバナー	森 泰樹
アシスタントリーダー	次期尾張第1分区分代理	永井 進
	次期名古屋第1分区分代理	嶺木 一夫
	次期職業奉仕副委員長	小 淵 連

初めにリーダーご自身のロータリーとの出会い、ロータリーでの活動、職業奉仕活動をユーモアを混えて話され、続いてアドバイザー森PGからは職業奉仕の認識、各アシスタントリーダーから職業奉仕に関連する考えが表明された。現実の問題(大店法)に関してのロータリアンとしての地域代表や職種代表等の間に起きる苦悩。孔子の言葉を借りての格調の高い企業目的と職業奉仕の接点が話された。

後半、RIの提唱する職業宣言、職業奉仕四つ

の反省、職業奉仕の委員会構成等の説明が行われ、続いて各クラブの活動の現状の発表に入った。会員医師の奉仕によるロータリアンの健康診断とデータ管理(職業奉仕は健康から)、職業表彰、会員の職業奉仕事例集の編集等の活発な意見発表が行われた。

最後に森PGからロータリアンの職業奉仕に関する好適な事例が紹介され、ロータリアンの認識と自覚をもとに、職業を尊重し、使命を心得ての職業についての研鑽が必要であり、自己を高めることこそが私たちの職業奉仕生活であると結ばれ、1年間の各委員の活動を期待するとの言葉で閉会となりました。

第4分科会報告〈社会奉仕部会〉

リーダー	次期社会奉仕委員長	梅田 章次
アドバイザー	バストガバナー	加藤 直一郎
	バストガバナー	奥谷 博俊
アシスタントリーダー	次期東尾張分区分代理	青山 健夫
	次期三河第1分区分代理	間瀬 誠一
	次期社会奉仕副委員長	石井 直一

リーダーの司会で先ず2人のバストガバナーの話につづいて、3人のアシスタントリーダーのそれぞれが話された。会の模様を要約すると、次年度RI会長がサブテーマとして、環境保全に特に力を入れていることから、専ら環境保全について協議された。

現在われわれの天体地球が急速にその自然が破壊されつつあり、このままゆくと近い将来には人類の存続が危ぶまれることが予測される。今後の世界人口の爆発的増加と、後進国の開発が進むにつれ、熱帯林の破壊、フロンガスによるオゾン層の破壊、炭酸ガスの増加による地球の温暖化、酸性雨による森林の破壊、海洋汚染、

砂漠化の拡大等、人類の過去に経験のないことから、今後どうなるか予測が出来ない。

それに対してロータリークラブに何ができるかということで、木を植えることが話題の中心になった。これまで各クラブが木を植えた実績が報告され、折角木を植えてもあとの管理がむづかしいことから、行政面に働きかけることも一つの方法である。

またゴミを出さぬことも大切である。現在の日本の豊かさをどのように利用するか、もう一度われわれの身のまわりを考え直す必要がある。日本人は自我が強くコミュニティができないので、日本人の意識をかえてゆくことが大切である。

環境保全の問題は経済成長と裏腹の関係にあるだけにむづかしい問題である。しかしわれわれ子孫のために地球的規模で取り組まねばならぬ現在の切実な課題である。

第5分科会報告〈国際奉仕部会〉

リーダー	次期国際奉仕委員長	加藤 博
アドバイザー	バストガバナー	田中 徹
アシスタントリーダー	次期世界社会奉仕委員長	安藤 幸治
	次期青少年交換委員長	木本 精之助
	次期国際友好委員長	片山 主水
	次期ロータリー・ボランティア活動委員長	天野 正英

加藤委員長から国際友好をハートで広げてゆきたい旨発言があり、具体的には青少年交換に

新しいクラブが参加し、英文のロータリーの友を各クラブ3部以上購入してほしいという希望が出されました。

木本青少年交換委員長より高校生の交換は大変意義のある事業なので多くのクラブが参加して欲しいし又ロータリーの留学制度ほど行き届い

たものは無いと思うとの発表の後現状の報告がありました。日本へどうしても来たいという学生だけを呼ぶことが出来ないかという質問があり、委員長より最近日本が第1志望という学生も増えているが、必ずしも全員がそうでないことも確かなので、ホストクラブで日本の生活にとけこむよう努力して貰いたいとの回答がありました。

片山国際友好委員長より地区のクラブの約半数が国外のクラブと姉妹提携を結んでいるが、

これをもっと増やしたい旨発表がありました。出席者から姉妹クラブの提携をするだけが国際友好とは思われないが、もっと地域に密着した活動は出来ないかとの意見も出されました。

安藤世界社会奉仕委員長から全クラブがWCSに参加しているが、会員の中には内容を全然知らない人も多いので広報をして欲しい。そしてクラブで国際奉仕の予算を多く取るようにして貰いたいとの発言がありました。

第6分科会報告〈青少年奉仕部会〉

リーダー	次期青少年奉仕委員長	福山 巧
アドバイザー	バストガバナー	高沢 隆
アシスタントリーダー	次期西尾張分区代理	長谷川 淳一
	次期青少年奉仕副委員長	内山 卯
	次期インターアクト委員長	松前 憲典
	次期ロータリーアクト委員長	足立 守男
	次期ライラ研究委員長	山田 喬

西尾張分区代理長谷川氏の司会により、先ず福山リーダーより青少年奉仕はロータリーの奉仕活動の中で最も重要な位置を占めている。皆さんは青少年と共に行動し青少年に奉仕の機会を与えるとともに新しい奉仕事業を見付け出してほしいとの要望があった。近く青少年奉仕に関するアンケート用紙が各クラブに送られるから答えてほしいとの注文がだされた。

高沢バストガバナーより青少年奉仕には地区資金より年間9百万円が拠出されていると報告があり、続いて松前インターアクト委員長より

インターアクトは金を出して顧問の教師に一任しておくだけではいけない、インターアクトの例会には進んで出席して良き相談相手となっていたぶきたい。私は一宮女子高の例会には毎回出席していますと体験を交えての話でした。

ロータリーアクトについては委員長の足立氏が欠席のため内山氏が代弁されロータリアンの強力な推薦がなければロータリーアクトの会員は減少の傾向にあり一層の協力が要請された。インターアクトの卒業者を推挙していたぶくのも一つの方法かと思うと云われた。又各分区単位で新クラブを1つずつ作る様に努力していただきたいという要望もあった。

最後にライラという耳新しい言葉について山田ライラ研究委員長より説明があり、ライラとは青少年の指導者育成ということだそうである。

第7分科会報告〈R財団・米山記念奨学会部会〉

リーダー	次期R財団委員長	堀田 逞二
アドバイザー	次期米山記念奨学会委員長	河合 利周
	ガバナー	盛田 和昭
	バストガバナー	奥谷 博俊
アシスタントリーダー	次期R財団副委員長	加藤 龍彰
	次期米山記念奨学会委員長	米田 春雄
	次期財団奨学金委員長	小出 忠孝
	次期財団学友会委員長	深見 章
	次期ロータリー・ボランティア・コーディネーター	日比 栄一

堀田リーダーの司会にて会が始められ、奥谷アドバイザーにより米山財団の経過と現状の説明、寄付金増強の重要性を特に強調された。その後委員長、副委員長による米山月間の卓話者について各米山委員長が自らスピーチする様にと寄付金協力のお願ひ、それが日本に來ている外国奨学生の希望になっていることを力説された。その後R財団に入り25分間寄付金の用途と

現状のビデオ放映を見てから財団奨学金委員長・学友会委員長・ボランティア・コーディネーターより今後の進め方の説明があった。

次期財団委員長はポリオの現状とWCSの終結の説明があり、途中より中村ガバナーノミニーが出席され、今後の一般寄付を1人あたり100ドルの目標でお願いしたい旨の要望がなされた。これは今迄奨学生派遣割当てが1人23,000ドルが25,000ドルに増額され人数が少なくなる可能性がある為、何とか現状の数を維持したいからとの説明がありました。その後寄付についての活発な意見交換があり次期各委員長さん方の熱のこもった委員会でした。

第1回 1990—91年度地区国際奉仕委員会及び関連小委員会会議報告

1990—91年度地区国際奉仕委員会

委員長 加藤 博

副委員長 安藤 幸治

標記委員会会議が本年6月5日キャッスルプラザホテルにて開催されました。(11:30～15:10PM)

出席者

中村1990—91年度・地区ガバナー

田中地区国際奉仕委員会カウンセラー

加藤地区国際奉仕委員会委員長他全委員

出席者合計17名(2名欠席)

国際奉仕とその関連委員会の活動には、事前に可成りの準備期間を必要とします。又、WCSは前半期中に75%を完遂したい希望があり本年度の活動方針打ち合せの為に全委員の紹介を兼ね、早々と本会議が開催されました。

会議の主な内容は次の通りであります。

1. 中村ガバナーの挨拶と各(小)委員会に対して要望される事項の説明。
2. 田中カウンセラー(パストガバナー)の挨拶及びカウンセラーとしての意見発表。

3. 加藤博地区国際奉仕委員会委員長の挨拶及び各(小)委員会への要望事項の説明。
4. 木本地区青少年交換(小)委員会委員長より同委員会活動の現状説明、及び意見の発表。
5. 片山地区国際友好(小)委員会委員長より、地区内32クラブが海外クラブと姉妹・友好クラブ提携中の実情と今後の方針説明。
6. 天野ロータリー・ボランティア活動(小)委員会委員長の同活動に就いての受け止め方と、活動実施には、更に研究を要する旨、説明されました。
7. 日比ロータリー・ボランティア・コーディネーターの上記のロータリー・ボランティア活動に就いて補足説明がありました。
8. 安藤世界社会奉仕活動(小)委員会委員長よりWCS活動についての推移と今年の計画に関する提案がありました。
9. その後、全員による討議があり終了。近く(6月10日)開催の地区協議会に備えて有意義な会議でありました。



1992～1993年度

地区ガバナー・ノミニ候補推薦について

1992～1993年度のガバナー・ノミニ候補として、適切な方を地区指名委員会で求めることになりました。各クラブにおいて適切な会員を地区指名委員会に推薦して下さい。

尚、地区ガバナー・ノミニ資格条件として、手続要覧の国際ロータリー細則の第12条第7節の(b)地区ガバナー・ノミニの資格条件を満たすことが、必要となります。

締切は、9月29日必着となっていますのでご注意下さい。

地区指名 委員長 高沢 隆(パスト・ガバナー)
委員会 委員 盛田 和昭(パスト・ガバナー)
中村 繁男(ガバナー)

本年度地区大会

本年度地区大会は1991年4月6日(土)7日(日)豊川ロータリークラブのホストで開催の予定です。詳細は追って発表致します。

＊

例会場移転のお知らせ

新城ロータリークラブ

7月1日より下記の場所に移転いたしますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

記

〈移転先〉

新城市字中野15番地10 商工会館3階
☎ (05362)2-1778

〈ロータリー文庫〉はロータリー50周年記念事業の一つとして、1970年に設立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万6千余点を収集・整備して皆様のご利用に備えております。ご来訪による閲覧は勿論、電話や書信によるご相談も承ります。また文献・資料の在庫先のご

紹介や、絶版資料についてはコピーサービスも致します。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用くださるようお願い致します。

このたびは、「地球環境保全に関する特集号」として文庫資料の中から下記の13点をご照会致します。

「有害廃棄物-取扱い注意」

メルル・スワーツ 1984年2月号 4頁 [文庫]

「酸っぱい雨は 苦い雨

…酸性雨は環境をおかすガンである」

マーティン・デ・ハート 1984年5月号 4頁 [文庫]

「海の生命を脅かすプラスチック公害」

D.H.S. ウェイリ、フェリシア C. コールマン

1984年6月号 4頁 [文庫]

「深刻なゴミとの戦争」

デービッド E. ウイルク 1988年9月号 4頁 [文庫]

「空にいた穴

—地球を脅かす深刻なオゾンの欠乏—」

ケアリー・シルバー 1989年3月号 4頁 [文庫]

「ーじん肺-健康障害の知識」

奥谷 博俊 1978年 26頁 [05615-3-3356]

「車粉公害についての私見」

拝野 賢治 1989年 54頁 [011-382-2515]

「地球環境保全に関して」

伊藤 逸夫 1990年 20頁 [0898-64-2384]

【大気保全功労者表彰・記念講演

平成元年3月23日 環境庁】

「人間活動と地球温暖化 —その科学的知見と対応—」

北野 康 7頁 [文庫]

【社団法人 環境創造研究センター発行

「環境(49号)」掲載】

「地球環境時代の環境理念と政策の方向」

内藤 正明 1989年3月 11頁 [文庫]

【1988~89年度第268地区年次大会記念講演】

「いま、地球があぶない」 伊藤 和明 11頁 [文庫]

「地球のお天気」 倉島 厚 8頁 [文庫]

(ビデオ)

「人類は大地に属する」 R.I. VHS 10分 [文庫]

註. [] = 問合せ先.

ビデオの貸出しは申込み先着順

..... ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3

abc会館 7 階

(03-433-6456)

開館=午前10~午後5時



知立市無量寿寺のかきつばた

かきたる歳時記

ひとともにして叢や青薄

繁男

昭和62年作。知立市八橋無量寿寺にて。帝孫として生まれながら、藤原氏との確執により東国へ流された美男子、在原業平をヒーローとする「伊勢物語」によって、杜若の八橋は全国にその名を知られている。彼の供養のために建立された寺の境内に、「ひととすすき」というのがあって、片手でその葉先を結びと願いが叶えられると伝えられている。